### 第七回委員会議録

日時	令和4年12月1日 13:30~16:30		場所	中央区役所・現地
出席者			栗野隆委員長・金出ミチル委員(欠席)・松本恵樹委員・山﨑誠子委員 (リモート)	
	アドバイザー		青木達司 (文化庁文化財第二課)	
	オブザーバー		山崎忠良(新潟県観光文化スポーツ部文 化課)	
	新潟市関係課担当職員		中央区地域課:引地中央区建設課:石黒公共建築課:吉田	
	指定管理者		鈴木・中川	
	事務局	新潟市歴史文化課	遠藤・	廣野・小池・田部・小松
		㈱文化財保存計画協会	矢作(	記録)

内容: 第七回委員会議録 (委員等からの主な指摘事項)

#### 報告事項

## (1) 庭園工事に関する整備状況について (庭園資料1-1、1-2)

- ・ 昨年度の整備内容について、茶庭の芝生は野芝か。斜面の植栽はコグマザサ のみか。 (松本委員)
  - →芝生は高麗芝、斜面の植栽はコグマザサのみである。 (文計協)
- ・ 中庭の整備について、その後の経過はいかがか。土砂の流出等起きていない か。(松本委員)
  - →土砂の流出は起きていない。(指定管理者)
- ・ 資料1-2の内容は今年度これからの工事か。 (粟野委員長)
  - →これからの工事内容である。(文計協)

# (2) 庭園に関する調査状況について(資料2、3)

- ・洗い出しの種石自体は全体的に同じものか。(松本委員) →14、16、19、21、23については見た目から同じものと考えているが、割合 の分析からは客観的な特徴が見出せないので、断言はできない状態である。 (文計協)
- ・昨年度松本委員と現地確認した際の印象では、そこまで質の良い洗い出しでは無かった。また二層になっている箇所があり、今回の調査も含めどうやら後世に手を加えられたものと確認できた。整備方法についてはこのまま残すという方向で委員会では決定している。(栗野委員長)
- ・松本幾次郎、亀吉も筑波石を多用するが、踏面の部分にどのようなものを使用するのかこれから研究で明らかになれば良いと思う。 (粟野委員長)
- ・ 現地で実物を確認したいという印象。他は特にない。(山﨑委員)

#### (3) 旧齋藤家別邸擁壁について(資料4)

- ・ どのような擁壁が出来上がるのかご説明いただければと思う。 (粟野委員長)
  - →現状ではどのようなものか決定していない。設計事務所から複数案提示してもらっている。その中で可能性の高い2案は、現状の擁壁を残しロックボルトで固定しパネルを貼る案と、擁壁を撤去しロックボルトで補強し石積みを戻す案がある。(中央区地域課)
- ・ 昨年度末に危険な状況が判明し、青木調査官に現地を見ていただき相談しながら新潟市としてどのようにしていくか探りながら進めている。来年度工事実施に努めたいと思っているが、予算の関係などもあるため現段階のご報告と理解いただきたい。また具体的な方法等については、別途決定次第来年度の委員会で報告させていただきたい。(事務局)
  - →名勝の敷地内であり、神社やバス停が近くにあるため、景観に配慮した擁

壁が望ましい。また、この道は切り通して作られた道かと思うので、擁壁を 一度撤去する案の場合は、土地の造成を知る一つの地形になるかと思うので そのタイミングで断面の確認など合わせて行えたらいいのではと考える。 (粟野委員長)

### その他

### 全体を通しての意見

- ・ 来訪される見学者の方達は整備工事をしていることを分かっているのか、興味を持っている人はいるのか。(山﨑委員)
  - →工事期間は工事看板が出ている。工事時期が1月から3月の庭園に出られない時期を狙っている。工事が終わった後にリピートのお客さんが来ると変わったねという声はいただいている。(指定管理者)
- 新潟市を代表する施設という位置付けになっており、いろんな形で指定管理者の方が取り組みをしており、観光客もお越しいただき、この秋には紅葉の季節には夜間ライトアップをするなど、たくさんのお客様が来ていただいた。推測にはなるが整備や日頃の樹木管理も含めて関心を示していただいているのではないかと思う。(事務局)
  - →見たくてうずうずしている人達もいると思う。こんな風になってしまった のとならないような素敵な整備をしていただければと思う。(山崎委員)
- ・現地を見て確認したいと思う。(青木調査官・山崎調査員)

以上